

DRESS for SUCCESS

エグゼクティブのための装い
～服は着るのではなく、装い愉しむもの～

"BLUE"

今シーズンのトレンドは「ブルー」。

ブルー系の中でも、特に日本人の肌色に馴染みやすいのが、ベーシックカラーであるネイビー。ネイビーは、同じベーシックカラーのブラックに比べ、柔らかくカジュアルな印象にシフトしがちですが、今シーズンは、クールに、かつドラマティックに装うのが旬です。

ここでは、ドレスアップ・ドレスダウンを自在に演出できる「ジャケット×パンツ」スタイルを2つのコーディネートでご紹介。着丈が短い今季のジャケットは、コンパクトな体型の日本人にとって全身バランスがとりやすく、脚長効果も期待できます。

文：南由美子・写真：二塚一徹・協力：ジョルジオ アルマーニ ジャパン

Coordinate I

素材感に変化をつけて、ドラマティック&クールに。

日本人骨格は欧米人に比べてフラットな上、肌の色が黄色いため、顔周りが沈んだ印象になりがちです。これを解消するのが、光沢素材のジャケット。顔に近い上半身を明るく華やかな印象にすることで、パワフルなオーラを演出できます。二つボタンのシングルジャケットは、ラベルが長いのでボディラインを引き締めてみせる効果もあります。体型を美しく見せるポイントは、肩のライン。夏はアンコンジャケットなど軽やかなタイプが多くなりますが、適度に芯地があり、比較的肩のラインがしっかりあるものを選ぶことが秘訣です。ジャケットに合わせるシャツは、マットな表情のコットン素材も、織柄を選べばラグジュアリー感がアップ。微妙な凹凸がジャケットの存在

感にも負けません。襟の芯がしっかりしたものはボタンを2～3つ開けると、高さが出るため、深いVゾーンとニットタイの色のコントラストが、コーディネートを引き締めてくれます。シルバーラメの入ったコットンパンツは、サテンの側章がアクセントに。ジャケットとパンツは、光沢の強いアイテムの組み合わせなので、難易度は高め。しかし、素材感を変え、ワントーンでシンプルにまとめると嫌味にならず、ドラマティックなイメージに変化します。ワントーンの場合、素材感で差異をつけることがポイントです。また、タイはあえてエレガントなものではなく、シルクのニットタイをチョイス。どこかでキメたらどこかで外す。ファッションの王道テクニックです。

jacket: 115,500 円
shirt: 34,650 円
pants: 50,400 円
shoes: 59,850 円
chief: 8,400 円
tie: 21,000 円
belt: 37,800 円
sunglasses: 25,200 円
(すべて Emporio Armani)



DETAIL

男性の装いには、ポケットの演出も大切です。チーフは小さな面積ですが、インパクトが鮮明。洋服の一色を取り入れるとまとまりやすく、夏ならサングラスを入れてもクールに決まります。

- 1- ジャケットは光沢素材で華やかな印象に。
- 2- シャツは織り柄でラグジュアリー感アップ。
- 3- タイはエレガントにキメず、あえて外す。

jacket: 126,000 円
t-shirt: 21,000 円
denim pants: 34,650 円
sneakers: 44,100 円
scarf: 36,750 円
belt: 23,100 円
(すべて Emporio Armani)

- 1- アウターかボトムに白を。
- 2- Tシャツもクールに。
- 3- ベルトは全体のつながりを意識。

Coordinate II

ブルーを効果的に使い、華やぎと遊びを。

白のパンツが大旋風を巻き起こしている今シーズンは、その使い方が鍵。知性的な色である一方、ぼやけそう、太く見えそうという懸念は、アクセントカラーにブルーをうまく取り入れることで克服できます「白」にも様々なトーンがありますが、この夏はぜひ、オフホワイトではなく、ピュアホワイトをチョイスしてください。アウターかボトムに取り入れ、目に見える白の分量を確保することが、ラグジュアリーに着こなす秘策です。どうしても白に抵抗があれば、まずは顔から距離のあるボトムから取り入れましょう。いつものジャケットに白デニムをプラスするだけで、驚くほど鮮度ある装いになります。このコーディネートでは、麻のジャケットはプレーンなデザインで品良く、Tシャツはメタリックブルーのプリントでクールに。何より上品であるべき大人の白デニムは、シルエットと仕立てのよさを重視。レザーシューを合わせれば、大人のカジュアルに最適です。軽やかさを手軽に演出するのはスカーフ。縦長に巻くと目線が上下に流れ、すっきりした印象になります。この柔らかいニュアンスに対して、スクエアでシャープなチーフを差すと変化が付きまします。ポイントは、トップスとボトムをつなぐベルト。境界線をはっきりと作りつつも、コーディネート全体のつながりを意識します。

友恵 絢子
Junko Tomoe

グラス・ジャポン
エグゼクティブプロデューサー / CEO

GRACE JAPON
〒460-0008 名古屋市中区栄 3-15-27
名古屋プラザビル 9F
TEL・FAX: 052-602-9337
URL: www.grace-japon.com
E-mail: tomoe@grace-japon.com



四年生大学被服科卒/大手人材コンサルティング会社にてキャリアコンサルタント兼オフィシャルトレーナーとして外資系ラグジュアリーブランドをはじめとする大手企業を担当する。広報などの経験を経て、ブランディングに特化したコンサルティング会社、グラス・ジャポンを立ち上げる。個人向けには、経営者、医師などのエグゼクティブを中心に、ショッピング同行、代行、服装計画の立案を行うスタイリングサービスを東海エリアで展開。企業向けには、研修、セミナー、PRコンサルティング、執筆活動を行う他に、企業CMでは大物タレントのスタイリングを担当する等、幅広い活動を行っている。
AICI国際イメージコンサルタント ニューヨークチャプター会員

エンポリオ アルマーニ 名古屋店
〒460-0003 名古屋市中区錦 3-24-24 TEL: 052-961-5690
【お問合せ先】 ジョルジオ アルマーニ ジャパン TEL: 03-6274-7070